

セルフストップ水栓

LF-P02
LF-P02B
LF-P03B

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後、この施工説明書と同梱の「ご愛用フォルダー」に入れてお客さまにお渡しください。

施工完了図

LF-P02

LF-P02B

LF-P03B

水栓取付穴中心

ホルダー回転軌跡

前面

49

58

カウンター裏面にホルダーが回転可能なスペースを確保してください。

安全上のご注意

お客さまへお願い

取付工事は必ず工事に依頼してください。ご不明な点がございましたら工事店または、当社支社やお客さま相談センターまでお問い合わせください。
取扱説明書はお読みになった後、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

取付工事店の方へお願い

ここに示した(△警告・注意)は状況により重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。
取付工事は、水道法、その他の法令および地方自治体の条例、規則など各種法規にしたがって行ってください。
工事または取扱いにあたって、ご不明な点がございましたら、当社支社やお客さま相談センターまでお問い合わせください。

警告

水道水の水質基準に適合した水、および飲用可能な井戸水以外には取り付けないでください。

注意

取付工事の前に

LF-P02B、LF-P03Bは、流量調節のため、流量調節栓(別売品)を取り付けてください。

使い勝手や性能発揮のために流量調節をしてください。とくに水圧が高い場合など、流量調節がされていないと漏水・破損の恐れがあります。給水圧力は0.07(流動時)~0.75(静水圧)MPa{0.7~7.6kgf/cm²}です。給水圧力が0.75MPa{7.6kgf/cm²}を超える場合は、市販の減圧弁などで適正圧力(0.20~0.34MPa{2.0~3.5kgf/cm²}程度)に減圧してください。取付カウンターが厚い場合や、大理石などの特殊な材料を使っている場合は取り付けできない場合があります。また穴あけなどの加工は十分注意して行ってください。

取付けに際して

同梱の部品以外は使用しないでください。

各接続部は、水漏れのないように確実に接続してください。

取り付けした後

最終点検時は配管接続部の水漏れ点検を十分に行ってください。

使用条件

使用圧力範囲

0.07(流動時)~0.75(静水圧)MPa{0.7~7.6kgf/cm²}

0.75MPa{7.6kgf/cm²}を超える場合は、市販の減圧弁などで適正圧力(0.20~0.34MPa{2.0~3.5kgf/cm²}程度)に減圧してください。

給水温度

45 以下で使用してください。

LF-P02B(立水栓)、LF-P03B(立水栓)をご使用の場合

水勢の調節および器具の点検を容易にするため、必ず流量調節栓(別売)を併用してください。

施工前のご注意

給水は上水道、および飲用可能な井戸水に接続してください。

飲用不可な井戸水、温泉水など異物を多く含む水には使用できません。

飲用可能な井戸水でも定期的なメンテナンスは必要です。

LF-P02B(立水栓)を取付けの際には、別売の専用工具「KG-1」およびマイナスドライバーをあらかじめ用意してください。

LF-P03B(立水栓)を取付けの際には、プラスドライバー、マイナスドライバー、スパナ(対辺8)を用意してください。

開梱、取付けの際には商品の表面にキズをつけないように十分注意してください。

LF-P02B、LF-P03Bは、流量調節や取付け後の保守点検のために必ず流量調節栓(別売品)を取り付けて、流量調節栓の点検口を設けてください。

必ず配管中の異物を完全に洗い流してください。

施工直後は、吐水時間や流量が安定しない場合がありますが、故障ではありません。数回(10回程度を目安)のボタン操作後、吐水時間と流量を調節してください。

組合せ陶器一覧表

	立水栓(手洗器用)		横水栓	
	LF-P02PB 取付穴 27±2	LF-P03PB 取付穴 36±2	LF-P02	
手洗器	L-14	x	x	穴なし
	L-15	AG, G	x	BG
	L-32	AN	x	穴なし
	L-62	AN, N, ANC	x	x
	L-80	AG, G	x	BG
	L-92	x	x	穴なし
	L-103	AG	x	x
	L-132	AG, G, AN, N	x	BG
	L-143	AG, G	x	x
	L-176	AP, P, N, AG, G, AN	FCR, FCRS	x
洗面器	L-275	AN, N	FCR, FCRS	x
	L-365	APR, APRS	x	x
	L-533	x	FC	x
	L-543	x	FC	x
	L-2094	AG, G, AP, P, AN, N, ANC	FC, FCS	x
	L-2095	AG, G, AP, P, AN, N, ANC	FC, FCS	x
	L-2145U	AG, G, AP, P, AN, N, ANC	FC, FCS	x
	L-2149	AG, G, AP, P, AN, N, ANC, APR	FC, FCS	x
	L-2160	x	FC, FCS	x
	L-2162	AG, G, AP, P, AN, N	FC, FCS	x
	L-2291	x	FC	x
	L-2295	x	FC	x
	L-2394	AG, G, AP, P, AN, N, ANC	FC	x
	L-2584	AG, G, AP, P, AN, N	FC	x
	L-2594	AG, G, AP, P, AN, N, ANC	FC	x

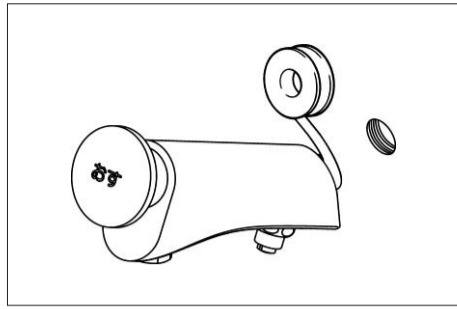
施工方法

以下の手順で正しく取り付けてください。

LF-P02(横水栓)の場合

配管取出位置に水栓をねじこみ取り付けます。

水栓に必要以上にシールテープを巻き付けないでください。
水栓取付時に破損する恐れがあります。



LF-P02B(立水栓)の場合

1. 水栓本体の取付け

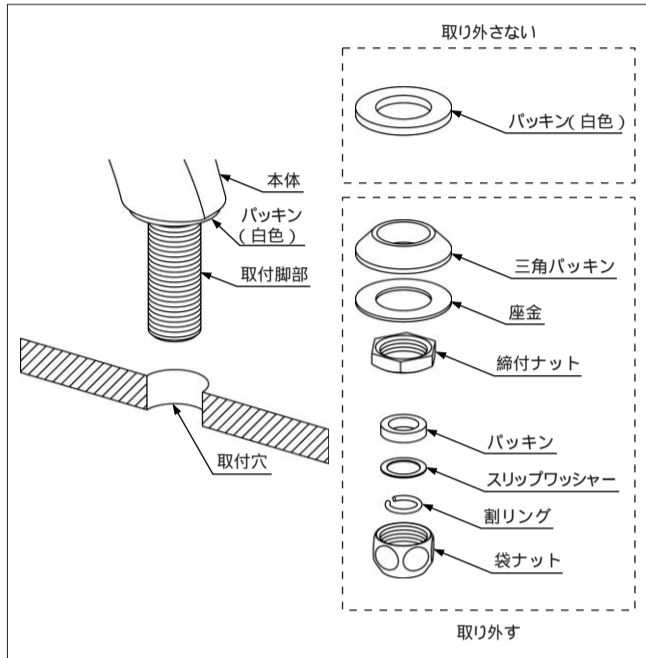
(1)水栓本体の取付脚部についている部品を外します。

パッキン(白色)は外さないでください。

本体を取付穴に挿入します。

挿入時にパッキン(白色)が脱落しないように注意ください。

施工中、本体を倒さないでください。鉢などが破損してケガをする恐れがあります。

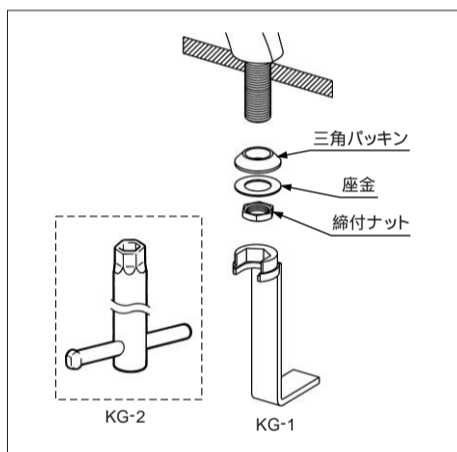


(2)吐水口の向きに注意し、専用工具で三角パッキン、平座金、締付ナットをしっかりと固定します。

三角パッキンと平座金は取付穴裏面に当たるまで挿入してから、締付ナットをしっかりと締め付けてください。

締付けが足りないと水栓本体がぐらついたり、取付穴下への漏水等の原因となります。

工具は別売の専用工具(KG-1もしくはKG-2)を使用してください。



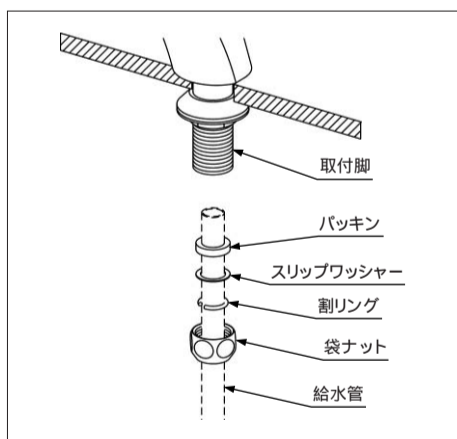
2. 水栓本体と給水管の接続

(1)取付脚への差込し(約20mm)を確保して、給水管(別売の流量調節栓に付属)を切断します。

(2)給水管に袋ナット、割リング、スリップワッシャー(金属)及びパッキンの順序に組み付けます。

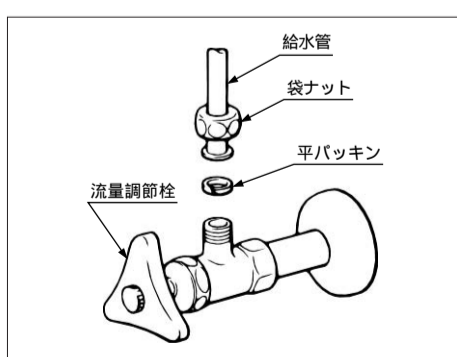
(3)給水管を取付脚に約20mm差し込み、袋ナットは、はじめに手でいっぱい締め付けてから、工具で~1回転増締めしてください。

(締付けトルク10~15N・m{100~150kgf・cm})



3. 給水管と流量調節栓の接続

給水管の袋ナットを流量調節栓(別売品)に固定します。



LF-P03B(立水栓)の場合

1. アダプターの取付け

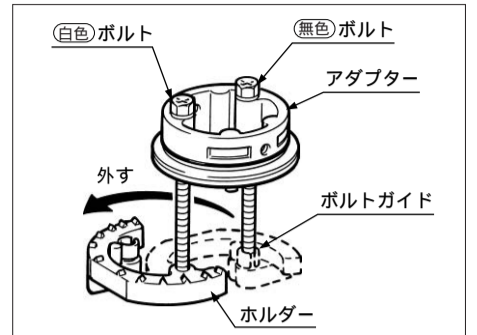
アダプターに同梱の「クイックワン施工」説明書に従い、正しく取り付けてください。

アダプターを正しく取り付けないと、水栓本体の固定強度が低下するなど、不具合の原因となります。

A-3811(別売)を使用するときは、パッキンは付属の説明書に従って取り付けてください。アダプターの取付けは以下と同様です。

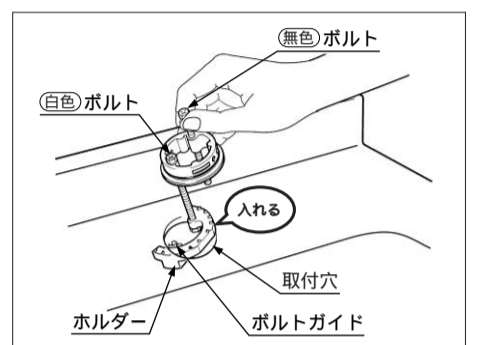
(1)無色ボルトをボルトガイドから外し、ホルダーおよび各ボルトの先端をカウンターの取付穴に挿入します。

ボルトの頭が白いのが(白色)ボルト、色なしが(無色)ボルトになります。



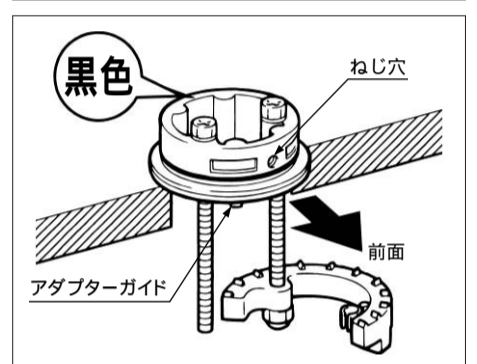
(無色)ボルトが取付穴に干渉するときは、(無色)ボルトを途中まで引き出してください。

(無色)ボルトは、アダプターから抜き取らないでください。)



(2)アダプターの(黒色)印が後方にくるようにし、ねじ穴が前方を向くように位置決めします。

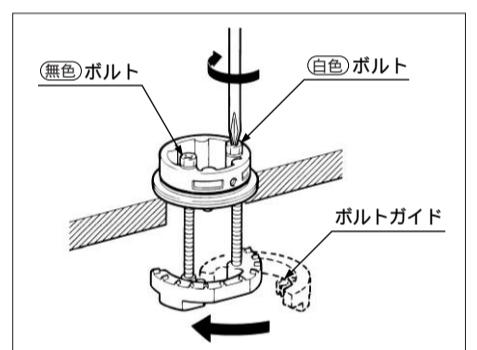
アダプターガイド4本が取付穴に確実に入っていることを確認してください。



(3)アダプターを手で押さえながらプラスドライバーで(白色)ボルトをゆっくり1~2回転程度締めます。

(白色)ボルトを回すと、ホルダーが連動して回り始め、ボルトガイドが(無色)ボルトに装着されます。

ホルダーがカウンター裏面の壁にぶつかる等ホルダーが連動せず空回りするときは、カウンター裏面の空いたスペースで指でホルダーを回し、ボルトガイドを(無色)ボルトに装着してから、再び(白色)ボルトを締めてください。



(4)アダプターを手で押さえながらプラスドライバーで(白色)ボルトを最後まで締め込みます。

(無色)ボルトが上がってきますので、ご注意ください。

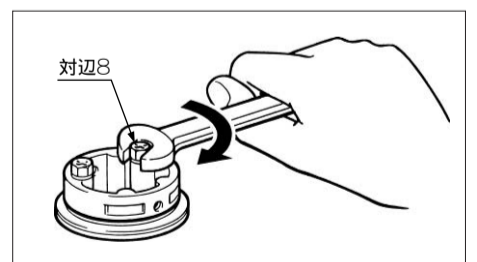
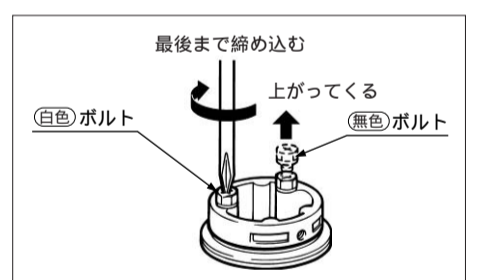
(5)プラスドライバーで(無色)ボルトを最後まで締め込みます。

(6)各ボルトを交互に締め付け、しっかりと固定します。

ボルトの締め付け力が均等になるようにしてください。

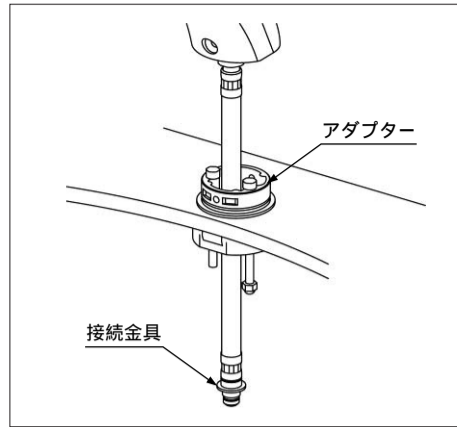
(7)スパナ(対辺8)等で各ボルトをそれぞれ1/2回転程度増し締めします。

締め付け過ぎないでください。ボルトが破損する恐れがあります。アダプターのぐらつきがないことを確認してください。

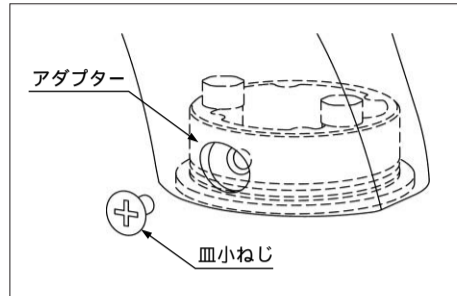


2. 水栓本体の取付け

(1)水栓本体をアダプターに設置します。
接続金具のOリング保護キャップはソケットと接続するまで取り外さないでください。

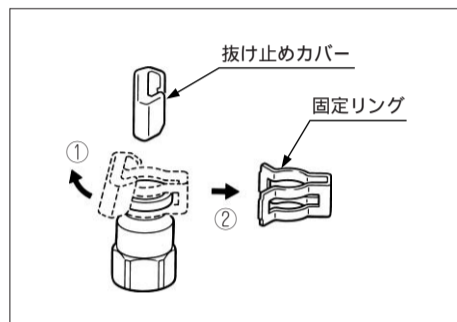


(2)水栓本体をアダプターに皿小ねじでしっかりと固定します。
水栓本体とアダプターのねじ穴がずれている場合は、水栓本体を左右に回転させてねじ穴をあわせてください。
水栓本体にガタつきがないか確認してください。

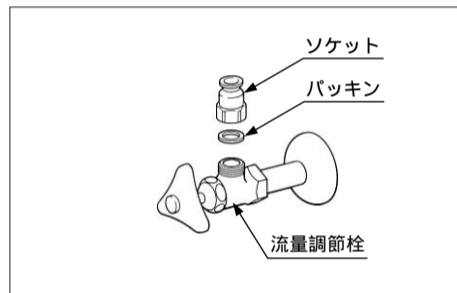


3. ソケットと流量調節栓の接続

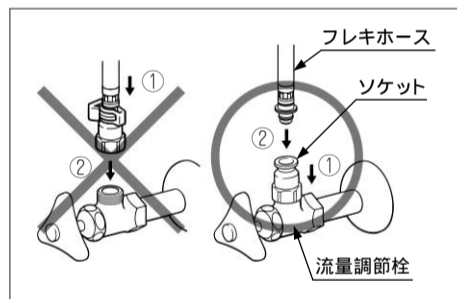
(1)抜け止めカバー、固定リングの順に取り外します。



(2)ソケットを流量調節栓に固定します。

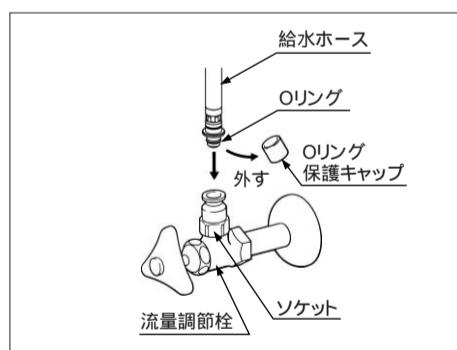


ソケットをフレキホースと先に接続してから、流量調節栓に固定することはおやめください。ソケットやフレキホースに無理な力がかかる場合があります、破損、漏水の原因となります。

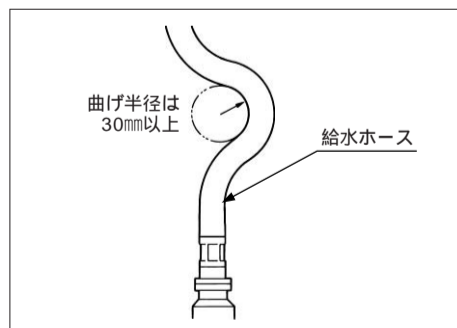


4. 給水ホースとソケットの接続

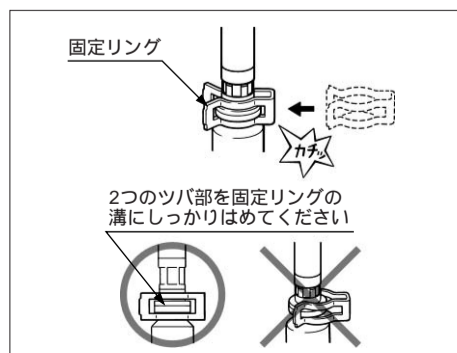
(1)給水ホースのOリング保護キャップを取り外し、ソケットに差し込みます。
Oリングに傷をつけたら、ゴミかみをさせないように注意してください。漏水の原因になります。



給水ホースを曲げる場合は、曲げ半径を30mm以上確保してください。無理に曲げるとホースが損傷し、漏水の原因となります。

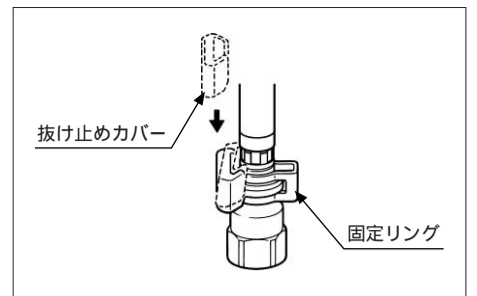


(2)固定リングを給水ホースとソケットの接続部(ツバ部)にはめ込みます。
しっかり取り付けないと漏水の原因となりますので、確実ににはめ込んでください。
給水ホースを上を引き、確実に接続されていることを確認してください。



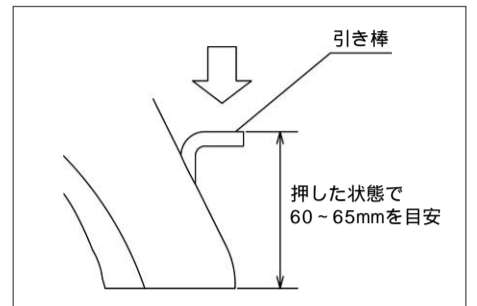
(3)抜け止めカバーを固定リングにはめ込みます。

固定リングが外れると漏水の原因となりますので、必ずしっかりとめ込んでください。
直接固定リングに手を触れるとケガする恐れがあります。
抜け止めカバーを必ずはめたままにしてください。



5. 排水金具の接続

排水金具と引き棒を接続します。
排水金具に同梱の施工説明書をご覧ください。この時、引き棒は右図のように取り付けてください。



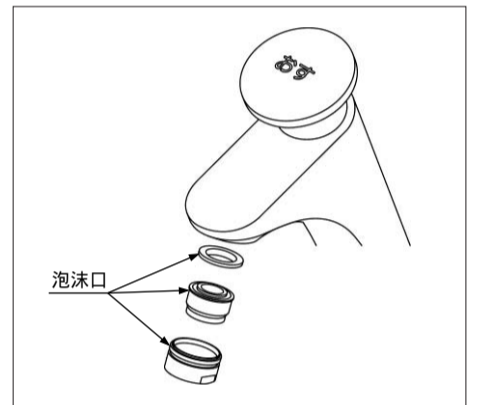
施工後の調節

取付後の掃除

泡沫口およびカートリッジのストレーナーが詰まると水の出が悪くなったり、流れ放しになるなど十分な機能が発揮されませんので商品取付け後に必ず掃除してください。

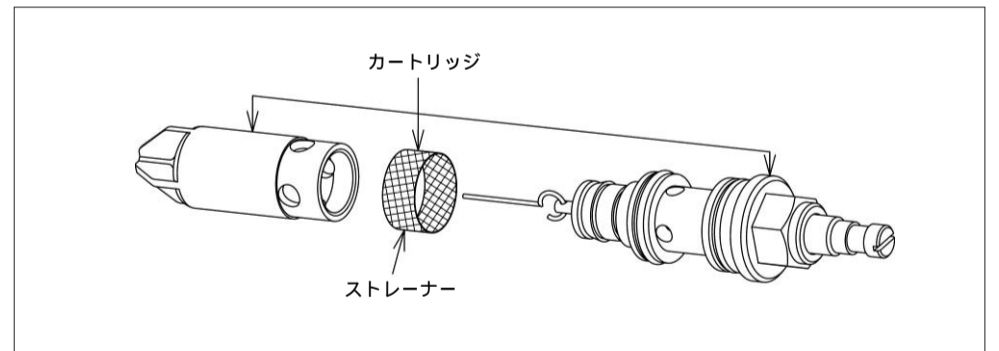
1. 泡沫口の掃除

スパナなどで取り外し掃除してください。



2. ストレーナーの掃除

(1)流量調節栓を閉じます。
(2)止めネジをマイナスドライバーでゆるめ押しボタンを取り外します。
(3)カートリッジを別売の専用工具(KG-24)または、ソケットレンチ(対辺17)などでゆるめ取り出します。
(4)ストレーナーを取り出し、編み目に詰まったゴミをブラシなどで掃除し、十分水洗いします。



カートリッジ組立の際は、各部品がゆるまないように十分に締めつけてください。
カートリッジは次項の部品展開イラストを参考に取り外してください。

流量の調節

使用時に水が飛散しない程度に流量調節栓で流量を調節してください。

(推奨範囲 5～8L/min)

(LF-P02B、LF-P03Bの場合は、別売の流量調節栓で調節してください。)

吐水時間の調節

吐水時間調節ねじを装備していますので、次の要領で適度な吐水時間に調節してください。

(1)流量を調節して吐水時間を確かめます。

(2)止めねじをマイナスドライバーでゆるめ押しボタンを取り外します。

(3)スピンドルをマイナスドライバーで回転させて吐水時間を調節します。

右回転...長くなる

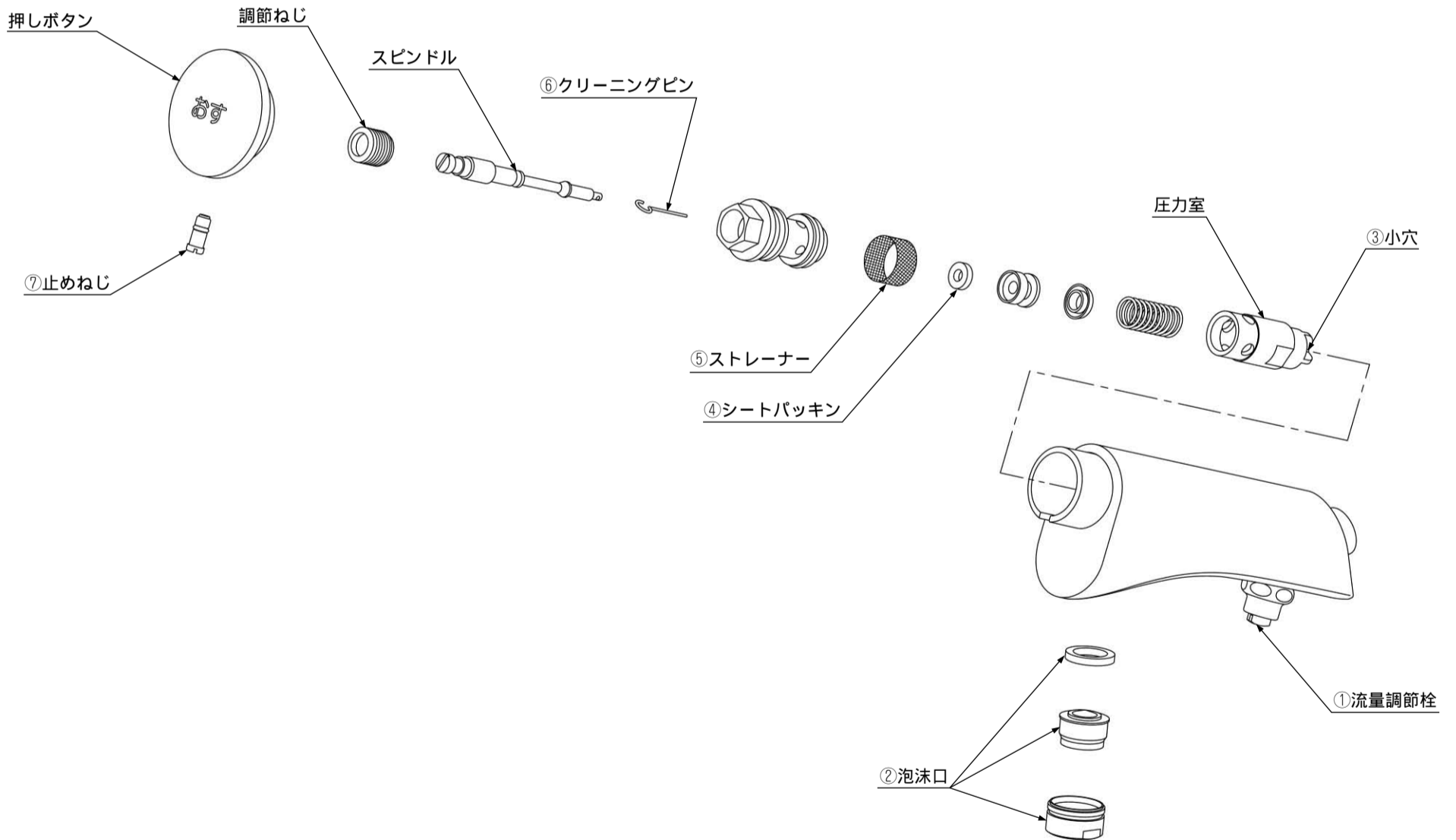
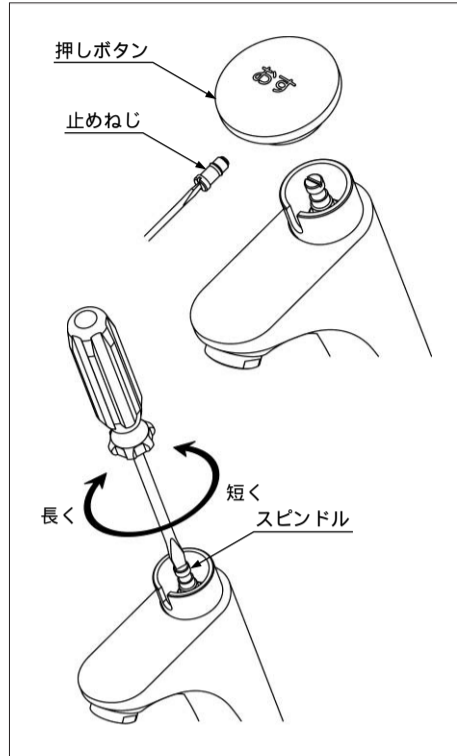
左回転...短くなる

推奨範囲 5～15秒

スピンドルを左回転に回しすぎると調節ねじが脱落することがありますので回しすぎないようにご注意ください。

(4)押しボタンをスピンドルに取り付け、押しボタンを押して吐水時間を確かめます。

(5)調節が終わったら止めねじをスピンドルにしっかり止まるまでしっかり締め付けてください。



引渡前の確認

引渡前および故障時の点検は以下の要領で行ってください。

故障と点検

点検箇所は下図を参照してください。

故障	点検内容	点検箇所	処置
流量が強すぎる	流量調節栓を開きすぎていませんか?	①	「流量の調節」の項を参照してください。
流量が弱すぎる	流量調節栓を絞りすぎていませんか? ゴミ詰まりはないですか?	① ⑤	
水が止まらない	ゴミ詰まりはないですか?	③	ゴミ等を水で洗い流してください。
	ゴミは付着していませんか?	⑤	
	ゴミかみはないですか?	④	
水が出ない	流量調節栓は開いていますか? 流量調節栓を絞りすぎていませんか?	① ①	流量調節栓を開いてください。
吐水時間が長い	ゴミ詰まりはないですか?	③	ゴミ等を水で洗い流してください。
	吐水時間の調節は適切ですか?	-	
吐水時間が短い	流量調節栓を開きすぎていませんか?	①	「流量の調節」の項を参照してください。
	吐水時間の調節は適切ですか?	-	
吐水状態が乱れる	ゴミ詰まりはありませんか?	②	ゴミ等を水で洗い流してください。
押しボタンがガタつく	止めねじがゆるんでいませんか?	⑦	止めねじを締め直してください。
押しボタンが重い	流量が多すぎませんか?	①	適正流量に調節してください。 (推奨範囲 5～8L/min)